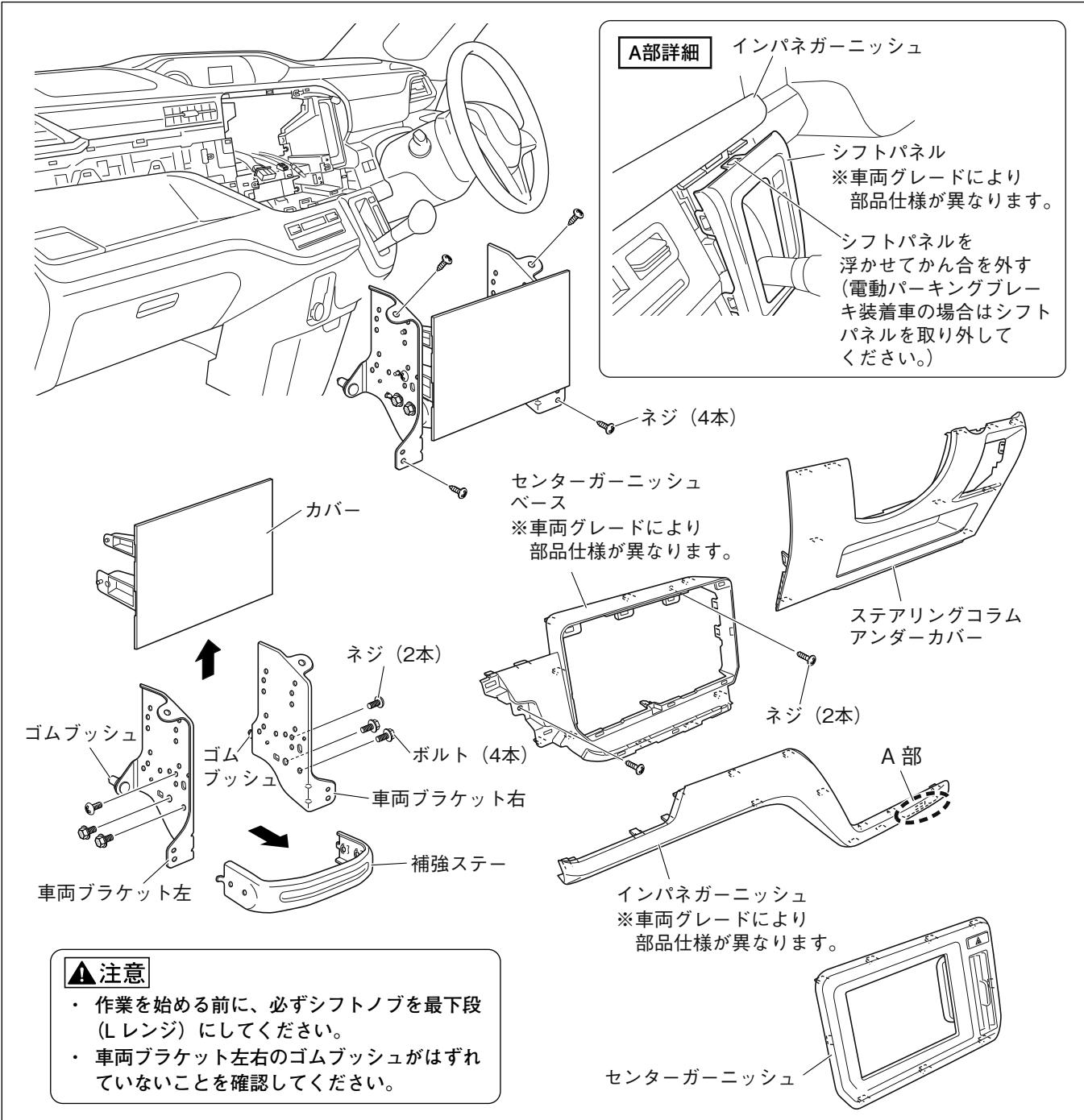


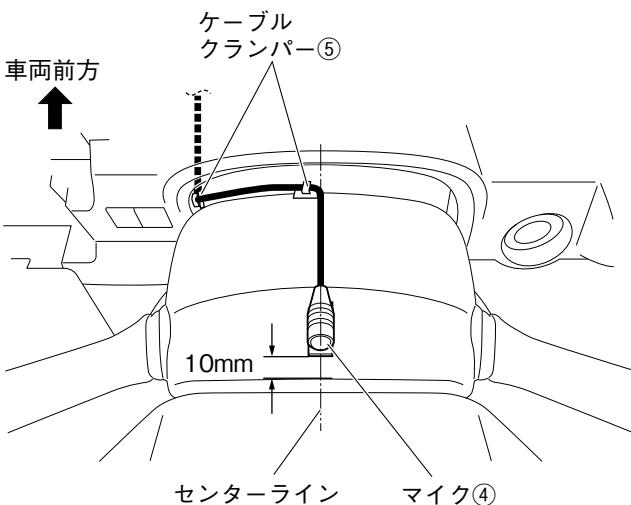
## ■ ソリオ

### 1.車両部品の取り外し



- センターガーニッシュを取り外します。(クリップ7箇所、ツメ2箇所)
- シフトパネルを浮かせてかん合を外し、インパネガーニッシュを取り外します。(クリップ12箇所、ツメ2箇所)
- センターガーニッシュベースを取り外します。(ネジ2本、クリップ8箇所、ツメ5箇所)
- 車両ブラケット左右を取り外します。(ネジ4本、オーディオコネクター、アンテナコネクター)
- 車両ブラケット左右からカバーを取り外します。(ネジ2本)
- 車両ブラケット左右から補強ステーを取り外します。(ボルト4本)  
※ 補強ステーとボルト4本は再使用しません。

## 2. マイクの取り付けと配線

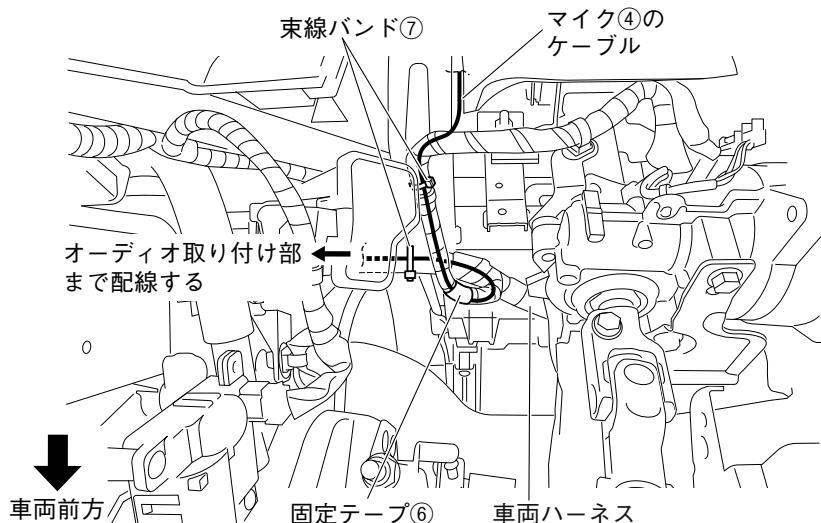


- マイク④を左図の位置に取り付けます。
- マイク④のケーブルをケーブルクランパー⑤で固定します。

### 注記

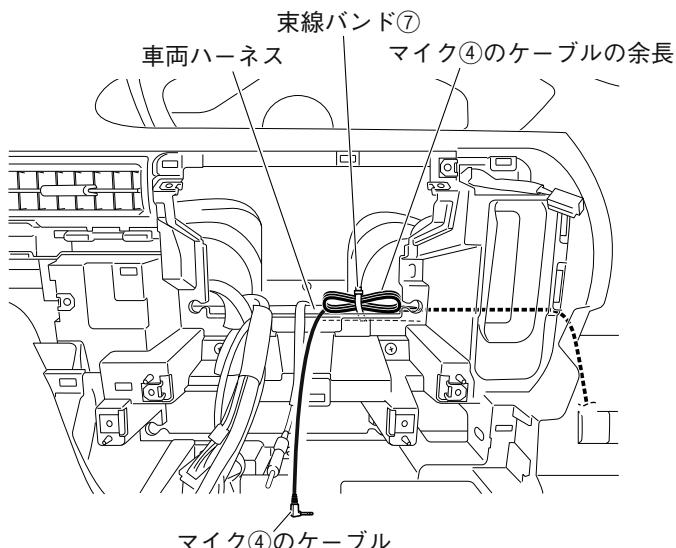
配線終了後、ステアリングのチルト操作等を行い、マイク④のケーブルと干渉しないことを確認してください。

### <運転席側：ステアリングコラム左上側の配線>



- マイク④のケーブルを束線バンド⑦と固定テープ⑥で車両ハーネスに固定しながら、オーディオ取り付け部まで配線します。

### <オーディオ取り付け部の配線>

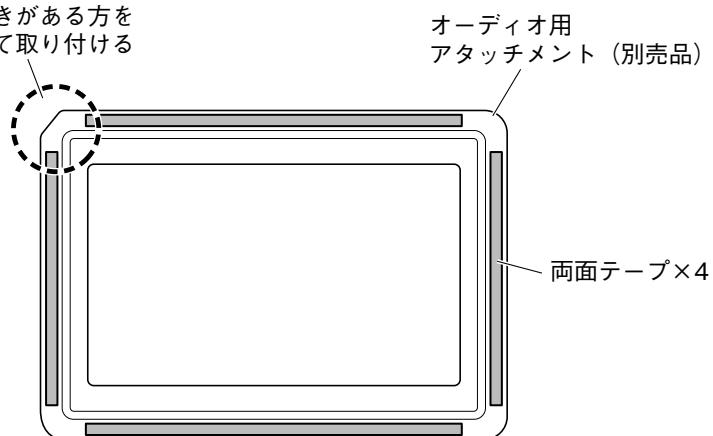


- マイク④のケーブルをオーディオ取り付け部まで配線します。  
余長は、束線バンド⑦で車両ハーネスに固定します。

### 3. オーディオ用アタッチメントの取り付け

<オーディオ用アタッチメント（別売品）を表側から見た図>

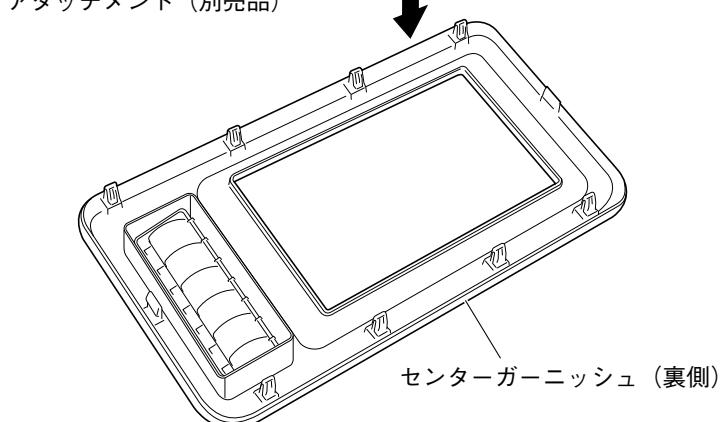
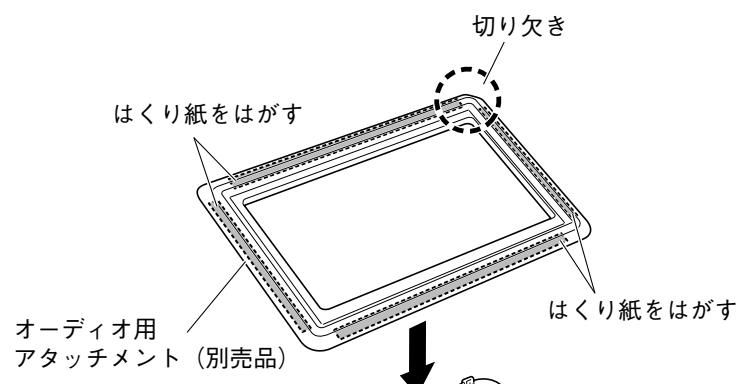
切り欠きがある方を  
上にして取り付ける



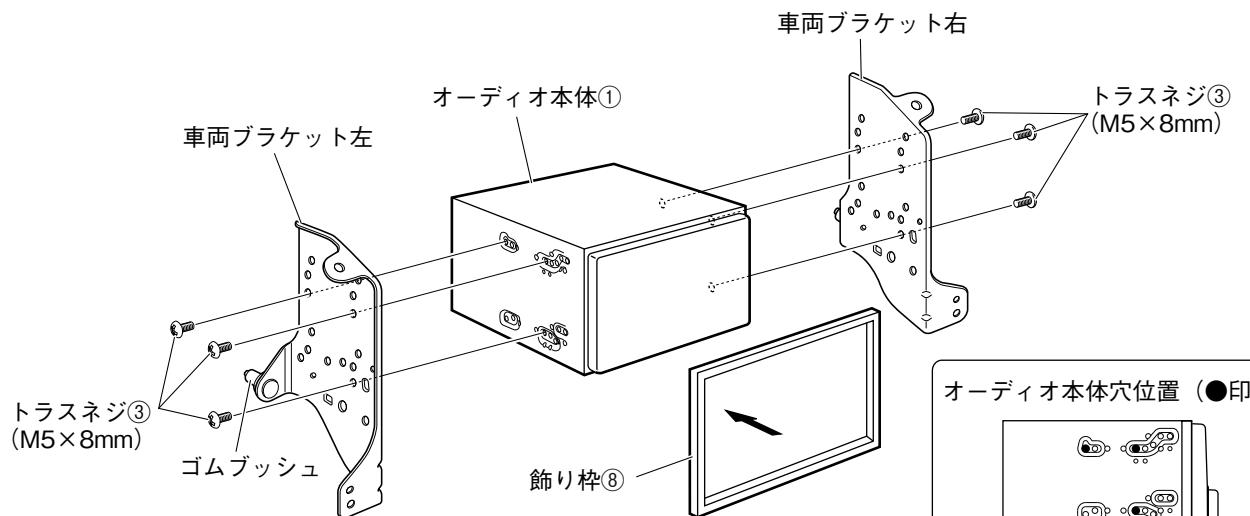
1. 左図のように、センターガーニッシュ  
(裏側)にオーディオ用アタッチメント  
(別売品)を取り付けます。

#### 注記

オーディオ用アタッチメント（別売品）の切り欠きがある方を上にして、センターガーニッシュに取り付けてください。



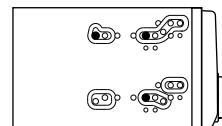
#### 4. オーディオの取り付け



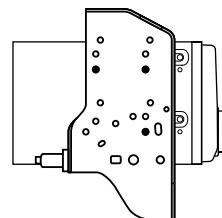
##### ▲注意

- ・取り付けには、必ず同梱のトラスネジ③ (M5 × 8mm) を使用してください。その際、ネジを確実に締め付け 2 ~ 3 回増し締めしてください。振動などによりゆるみが発生しないように、全箇所確実に増し締めをしてください。
- ・車両ブラケット左右のゴムブッシュがはずれていないこと を確認してください。

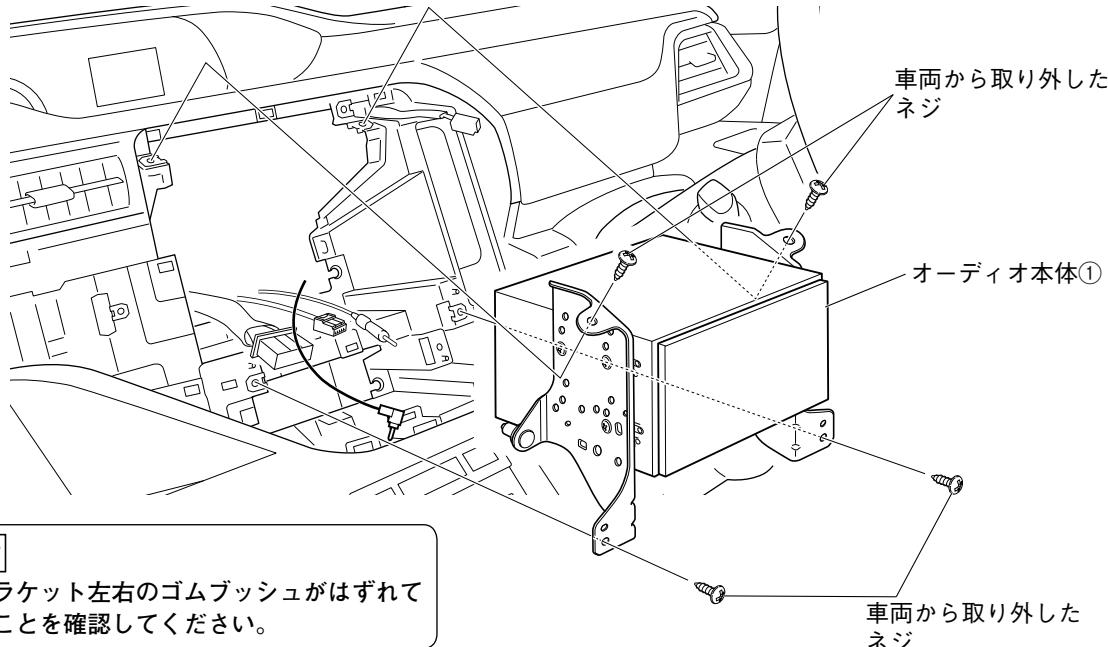
オーディオ本体穴位置 (●印)



車両ブラケット穴位置 (●印)



1. 同梱の飾り枠⑧を取り付けます。
2. オーディオ本体①に車両ブラケット左右を取り付けます。



3. 結線図を参照して配線を接続します。
4. オーディオ本体①を車両から取り外したネジで車両に取り付けます。取り付ける際は、ゆるみのないよう締め付けてください。また、ネジおよび指示なきボルトは、がたや破損が発生しないトルクで締め付けてください。

#### 👉 アドバイス

- ・ハーネスやケーブルをコンソール内の空いている方に逃がすようにして取り付けてください。オーディオ本体①の裏側に固まっていると取り付けできない場合があります。
- ・ゴムブッシュ付近にケーブルやコードが掛からないようにして取り付けてください。ケーブルやコードを挟み込んだり、取り付けできない場合があります。

- コード類を配線する際は、下記の点に注意してください。

**▲警告** 車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する  
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類の配線時に金属部と接触するところは、絶縁テープを巻く  
コード類の被覆が切れて金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

## 5. 車両部品の復元

1. 取り外しと逆の手順で取り付けます。
- ・車両部品復元時に一時的に取り外した部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取り付け前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締め付けトルク等)
  - ・取り付け作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。  
車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因になります。

**注記** センターガーニッシュ復元の際、組み付け状態を確かめてください。

【組み付け状態確認方法】

意匠側からライト等でルーバー内を照らし、ルーバーとダクトのかん合状態を確認してください。  
(ダクト先端部が見えている場合は正確にかん合されていません。)

- ネジの締め付けトルクが規定されているものがある場合は、規定のトルクで締め付けてください。